

プロジェクトの取組みの背景

Society5.0とは、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会（Society）のことであり、今後、世界が進むであろう未来社会の姿として提唱されている。

このような社会では専門分野が文系・理系であることを問わず、リテラシー、論理的思考力、規範的判断力、課題発見・解決力、未来社会の構想・設計力などが求められる。これらの能力の修得には、基盤となるリベラルアーツ（思考力・判断力育成のための一般的知識の提供や知的能力を発見させることをねらいとする）教育が重要であり、初等中等教育から始めて、大学院レベルまでの教育が重視されている。

さらに、数理・AI・データサイエンス教育が求められており、これらに関する一般的知識の習得、ICT活用スキルの向上が求められる。また、ICT教育を行う環境整備が必要となる。また、コロナ禍により社会におけるICTの活用の必要性が加速的に増している状況である。

PLAN（計画）

改革の目的

Society 5.0で実現する社会は、IoT（Internet of Things）で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有されるようになる。本学においてもその社会で求められる人材を育成するため、高度なICT環境の整備を進め、数理・AI・データサイエンス教育および研究を展開し、新たなリテラシーの涵養を図る。具体的に、数理・AI・データサイエンス教育プログラムを導入しPCを活用したモデル授業を展開する。

DO（実行）

2021年度に実施予定の項目

1. 数理・AI・データサイエンス教育プログラムの構築（基礎・応用）
 - ①2024年度の全学生PC必携に向けた、カリキュラム全体におけるICT関連授業の展開のプランニング 【成果：計画案の提示】
 - ②リベラルアーツ教育の展開のプランニング【成果：計画案の提示】
2. 既設科目での数理・AI・データサイエンス教育実践による授業内容の充実
 - ①必修授業での実施（成蹊スポーツ基礎演習、スポーツ学入門、スポーツ学研究法Ⅱ）【検証：実施内容の提示、効果・満足度の検証】
 - ②遠隔授業と対面授業の効果的な活用 【検証：遠隔授業満足度、授業内容の調査】
3. 必携化PC・ICTを活用した授業開発、教育・学生支援及び情報インフラの充実
 - ①1人1台のPC保有の実現（保有率100%への促進、ノートPC保有率を調査・促進）【検証：保有率調査（全体・ノートPC）】
 - ②PCを活用した授業の開発（1年必修授業、各コース専門実習などでのモデル授業実施）
 - ③ICT学生サポート体制の構築（学習支援室）【検証：支援活動実数の報告】

本学でのICT活用と養うスキル

Information and Communication Technology

1. PC入出力の基本スキル
【対象】1・2年次開講の講義(専門基盤科目など)
Word, Excel, PowerPoint,

2. コミュニケーション・ツールの活用
【対象】すべての科目
Teams, Zoom, Forms, OneDrive

3. 動画の撮影, 編集
【対象】実技・実習系
スマホ, iPad, iMovie

4. データ収集・整理・グラフ化
【対象】各コース専門科目
Excel, IBM SPSS

5. 専用機材(デバイス・アプリ)の活用
【対象】各コース専門科目

6. (プログラミング言語)

